

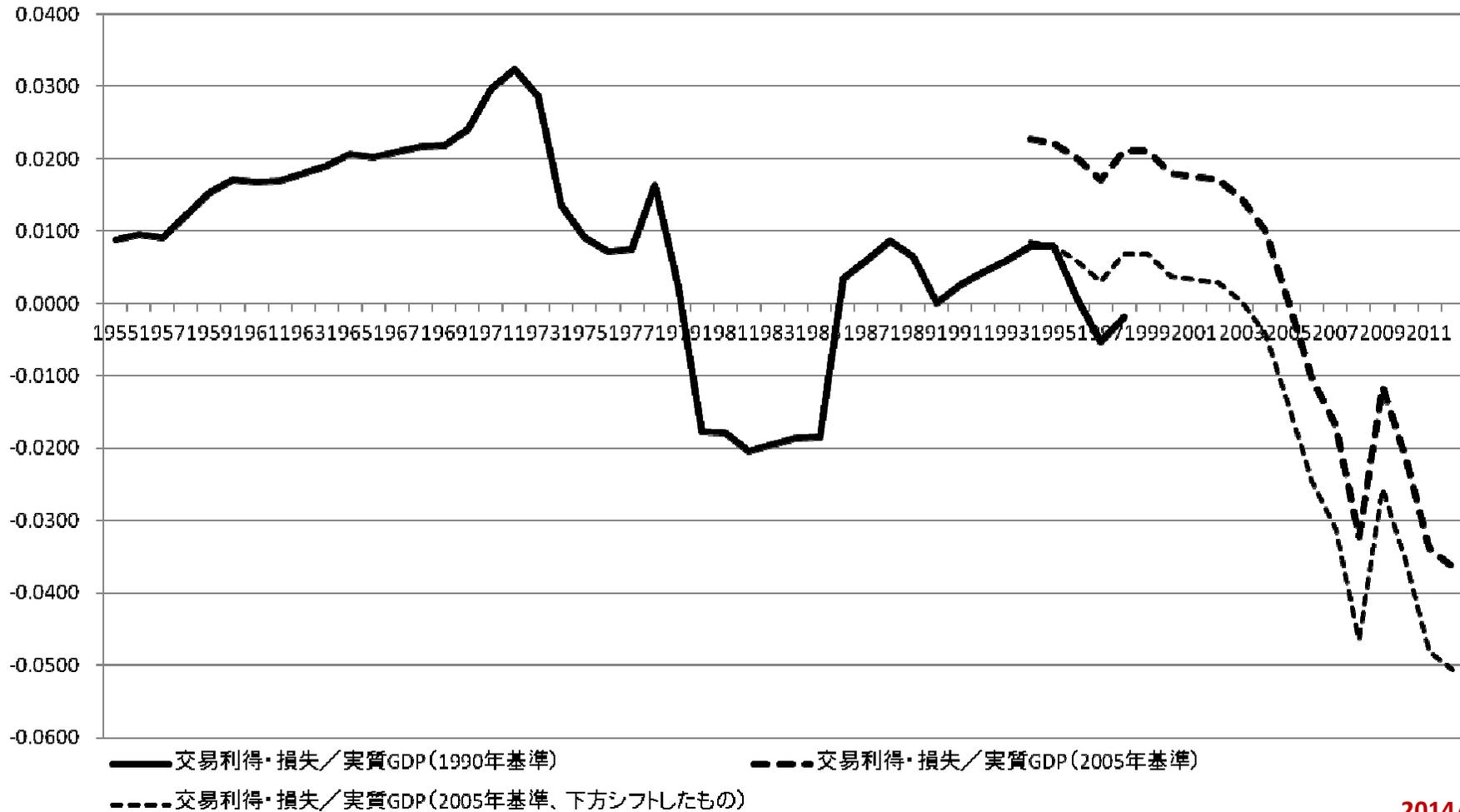
クオリアAGORA 2014年度第1回
2014/05/22@ ASTEM

イノベーション・ソムリエ論 —日本の産業は、立ち直れるか?

山口 栄一

京都大学大学院思修館 教授

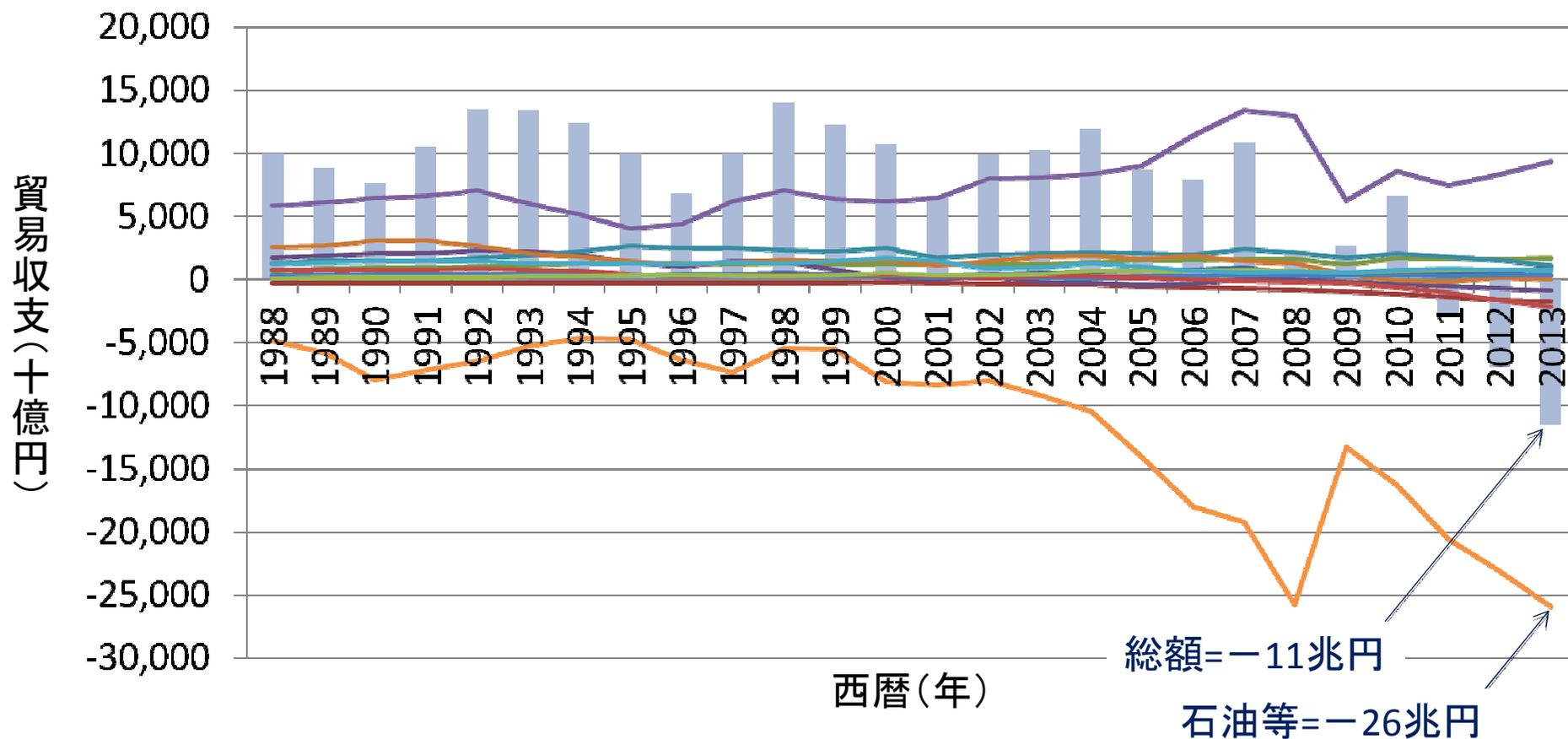
交易利得・損失／実質GDPの推移(1955年から2012年)



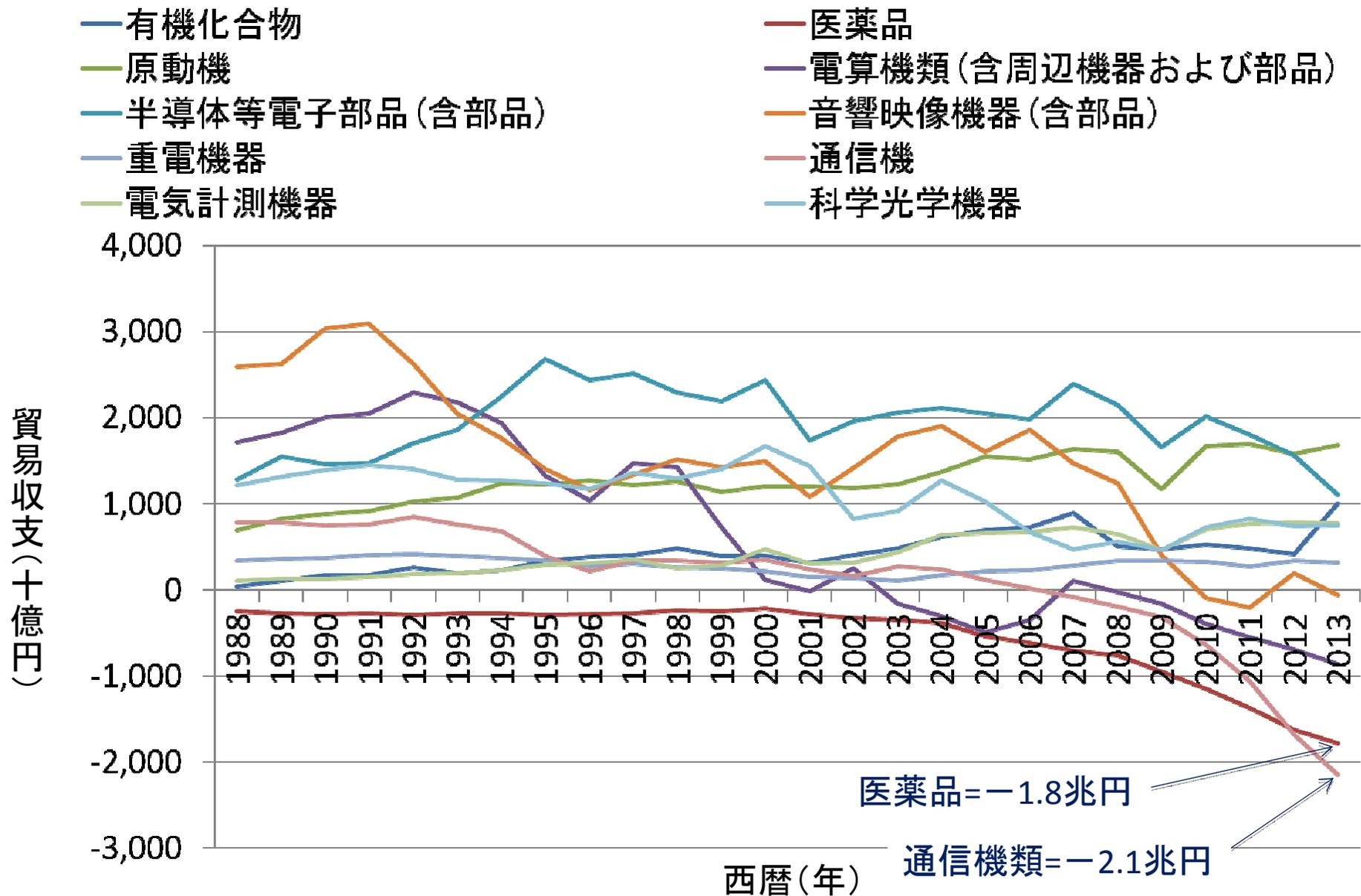
2014/2/22

齋藤誠「原発危機の経済学—社会学者として考えたこと」
(クオリアAGORAスペシャル)より引用

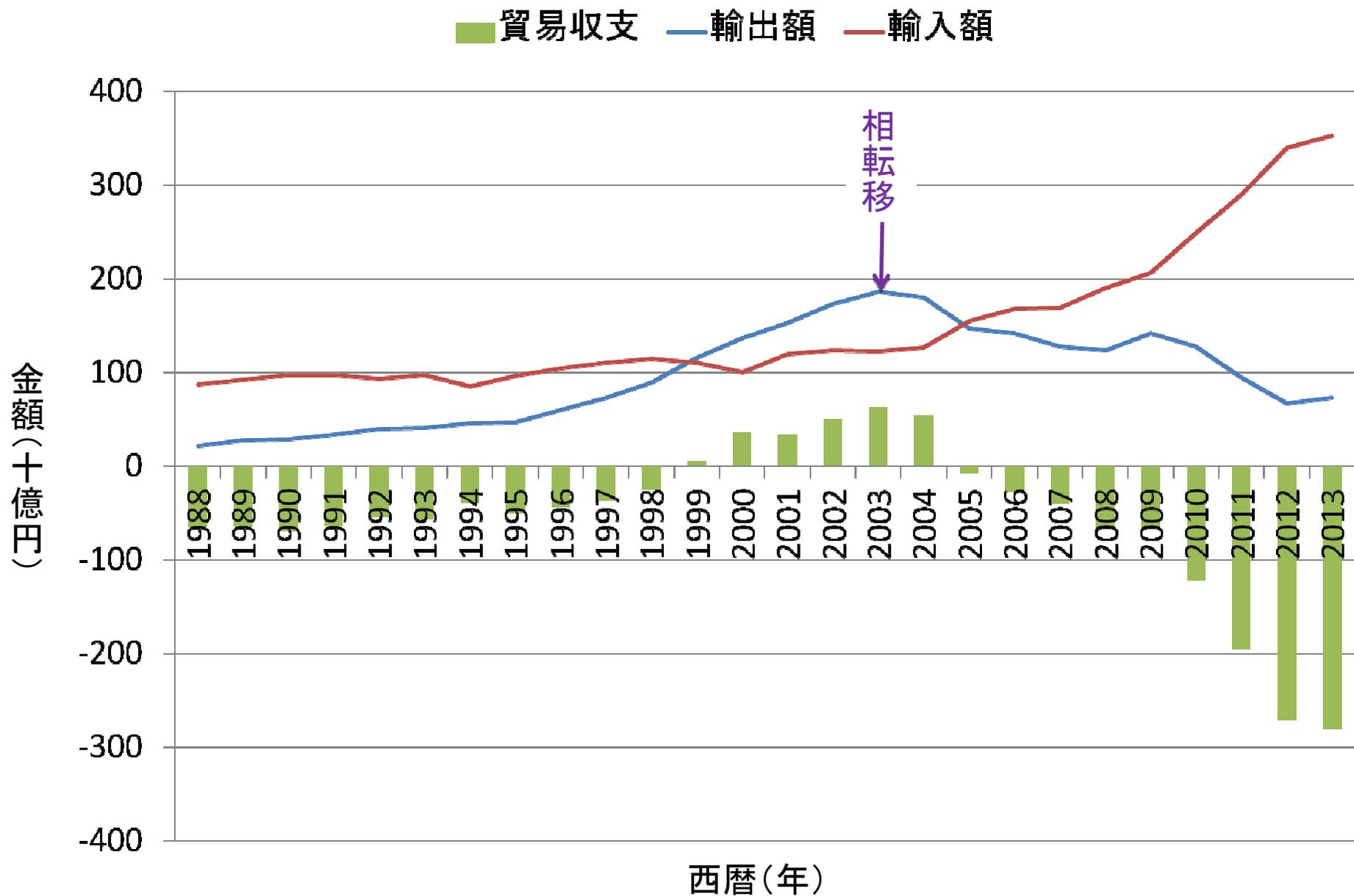
- 貿易収支総額
- 医薬品
- 電算機類(含周辺機器および部品)
- 音響映像機器(含部品)
- 通信機
- 自動車(含部品)
- 鉱物性燃料
- 有機化合物
- 原動機
- 半導体等電子部品(含部品)
- 重電機器
- 電気計測機器
- 科学光学機器



日本の貿易収支推移(総額および品目別)
(財務省貿易統計より作成)



日本の貿易収支推移(品目別:自動車(含部品)および鉱物性燃料を除く)
(財務省貿易統計より作成)



日本の医薬品貿易収支推移(対米国)
 (財務省貿易統計より作成)

日本よ、起業精神持て

アベノミクス1年半 経済再生へ注文

安倍晋三首相の経済政策「アベノミクス」がスタートして約1年半が過ぎた。海外の第一線の投資家にアベノミクスのこれまではどう映っているのか。日本経済の課題は何か。世界最大級の「買収ファンド」の共同創業者であるデビッド・ルーベンスティン氏に聞いた。

「アベノミクスをどう評価していますか。」

「低成長とデフレに長年悩まされてきた日本経済を著しく上向かせたことは、評価されるべきだ。株価は足もとばかりきみだが、数年前に比べると劇的に上昇した。海外の投資家に『日本は投資に値する』と思わせたことが、最大の成果だ。日本銀行も黒田（東彦）総裁が政権に歩調を合わせ、すばらしい成果をあげている。」

「ウォール街から見た安倍首相の印象は。」

「ウォール街の投資家が首相の名前を知っていることが過去と決定的に違う。これまで『日本の首相の名前は覚えなくて構わない。すぐにかわるから』と言われていた。安倍首相はだれ

もが知っている。国民の支持も高く、安定感ある政権は国家にとって必要だ」

「進みにくい新陳代謝」

「1年前、安倍首相と会談しましたね。何を話したのですか。」

「日本経済を活性化するためのアイデアについて買収ファンドを運営する立場から助言をした」

「私が強調したのは、日本の大企業の方だ。米国では、企業の事業部門や子会社がうまく稼げないとみると、経営者は買収ファンドや他社に売って再生を委ねる。ところが、日本では不採算の事業や子会社であっても手放さない。経済の新陳代謝が進みにくい」

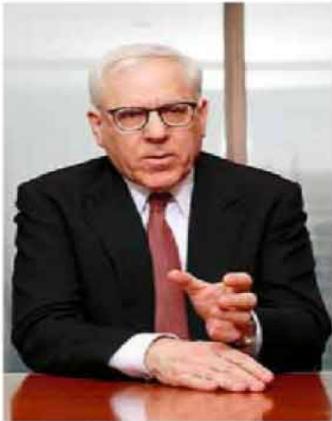


「買収ファンドの機能が万能薬だというつもりは、まったくない。しかし、業績がよくならない子会社などを買収し、再生すれば、経済の効率を上げるのに役買つことはできる」

「安倍首相はどんな反応でしたか。」

「首相は買収ファンドも含め、海外の投資を受け入れることが経済の活性化につながるかと理解していた。会談の最後に『内閣に入らないか』と誘われた」

カーライル・グループ共同創業者 デビッド・ルーベンスティン氏



ニューヨーク、坂本真理氏撮影

弁護士出身。米カーター政権で大統領副補佐を務め、1987年にカーライル・グループを創業。米政財界に幅広い人脈を持つ。64歳。

カーライルの運用資産は世界で約2千億ドル（約20兆円）あり、企業再生などに投資している。ダンキンドーナツなどの飲食店を展開する米タンキン・ブランド社などを買収した実績がある。日本では東芝セラミックス（旧社名）、ウィルコムなどに投資した。

「以前は、日本にもすばらしい起業家が多かった。例えば、ソニーを創業した故盛田昭夫氏。かつて私は弁護士をしていたが、盛田氏は顧客の一人でもあった。起業家精神にあふれ、尊敬していた。最近の日本には『アキオ・モリタ』が少ないようだ。マサソン（ソフトバンクの孫正義社長）など、才能ある起業家はいるが、多くはない」

「日本では、ベンチャーキャピタル（リスクをとって、成長が見込める新興企業に投資する会社）の活動も、米国ほど盛んではない。日本の文化的な問題が背景にあると思う」

構造改革 早く道筋を

安倍政権が発足して約5カ月がたった5月23日、ルーベンスティン氏は東京都内で安倍首相と会談した。安倍首相の菅義偉官房長官は当時、海外のファンと幹部と接触し、日本市場への関心を探っていた。日本の株価が政権の支持率に結びつくとみたらだ。ルーベンスティン氏によると、会談は30分間。アベノミクスについて意見交

2014年5月18日
朝日新聞7面

解しているのだと分かり、力強く感じた」

海外市場打って出よ

「最近の日本の株価下落は、構造改革など首相の経済政策の本気度を、海外の投資家が疑いつつあるからだとの指摘もあります。」

「日本はいま高齢化が進み、人口も増えにくいという困難な問題に直面している。率直に言えば、日本より経済の規模で勝る中国や欧州全域の方が世界の投資家にとって、いまも魅力があるのは間違いない。日本

として、注力すべき課題は明らかだろう」

「日本経済が浮上するカギは何でしょうか？」

「米国経済はいま、再び力強さを取り戻している。日本経済との違いは何か。一つは起業家精神だ。米国には起業の熱意が宿っていて、次から次に新しい企業が生まれ育っていく。残念ながら、日本には起業家精神が感じられない」

「以前は、日本にもすばらしい起業家が多かった。例えば、ソニーを創業した故盛田昭夫氏。かつて私は

日本の病

日本の周回遅れの原因は、サイエンス型産業の担い手が自前主義の「大企業」からオープンな「イノベーターのネットワーク」統合体に変容したにもかかわらず、その把握を怠ってきたから。

類型的な定説

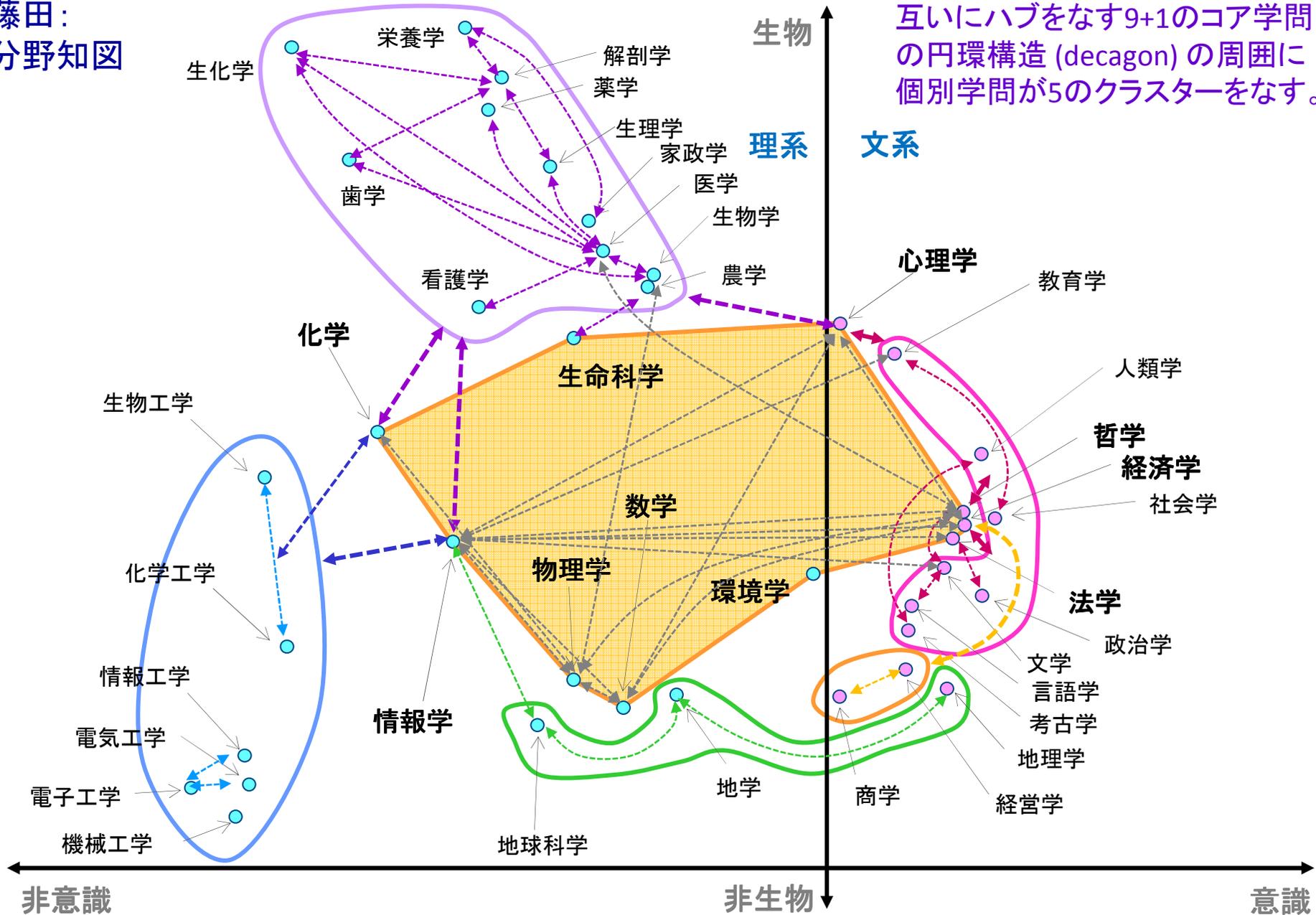
日本の周回遅れの原因は、起業家精神の欠如。
「最近の日本には『アキオ・モリタ』が少なく、才能ある起業家が欠如している。日本の文化的な問題が背景にある」

すなわち、「日本人は勇敢ではない」という「**文化的要因**」に基づく。

山口の創発的な仮説

日本の周回遅れの原因は、「**文化的要因**」では決してなく「**制度的要因**」である。すなわち、大学の知を身にまとった創造的な若者たちを起業家にする「**制度**」が存在しなかったから。

藤田:
分野知図

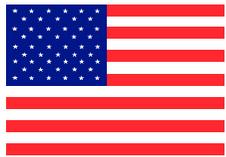


互いにハブをなす9+1のコア学問の円環構造 (decagon) の周囲に個別学問が5のクラスターをなす。

創造的な若者たちを起業家にする制度＝SBIR制度

SBIR/STTR

SMALL BUSINESS INNOVATION RESEARCH
SMALL BUSINESS TECHNOLOGY TRANSFER

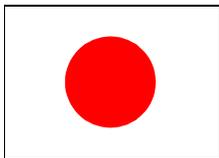


- 1982年より始まる。
- 連邦政府R&D予算の2.5%は、SBIR制度に拠出することを義務付ける(2000億円/年)。
- Phase 1, 2, 3の多段階型のスター発掘システム



技術開発を支援する! SBIR [中小企業技術革新制度]

SBIRは、中小企業による研究技術開発や、開発成果の事業化を一貫して支援する制度です。

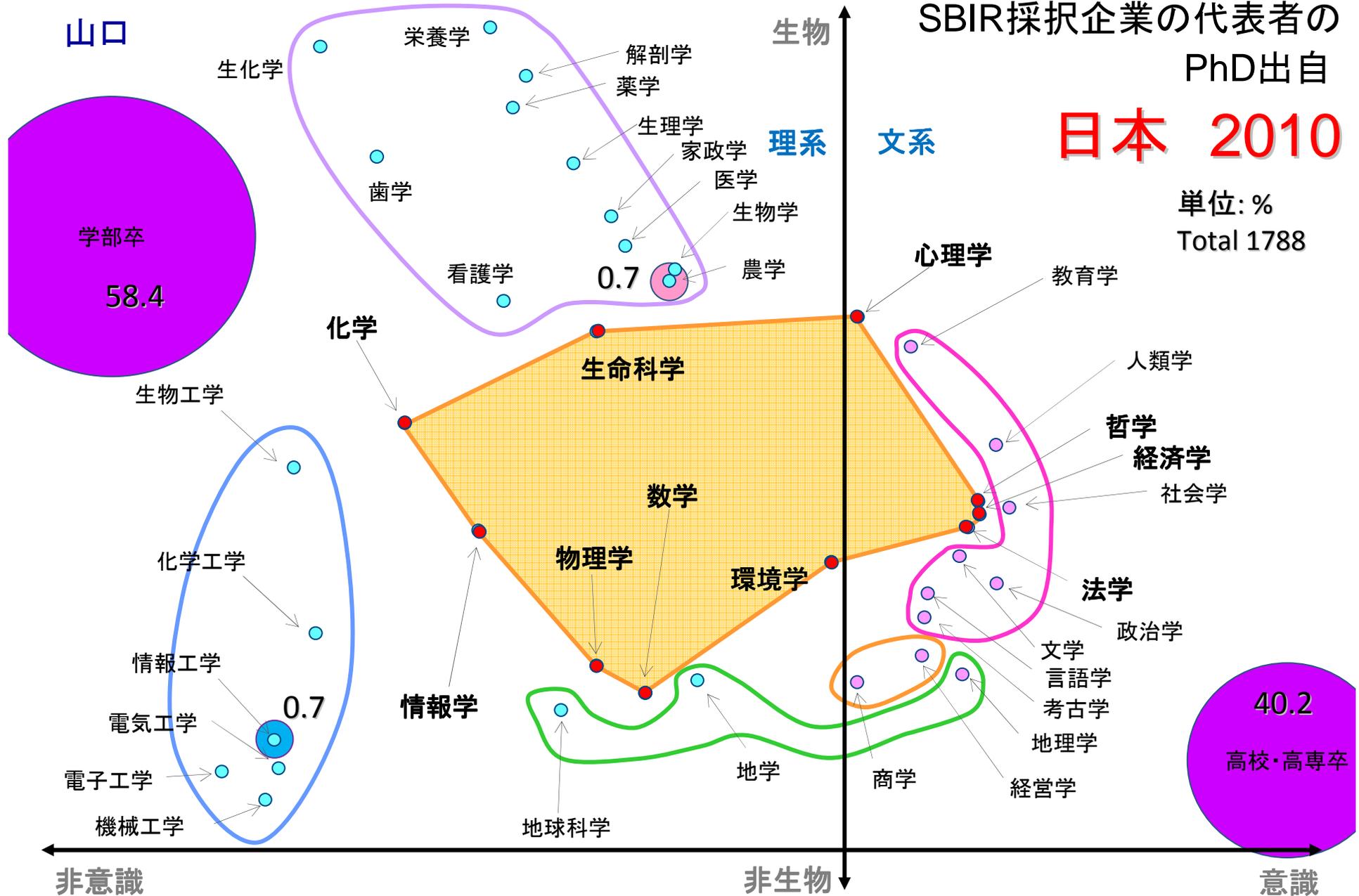


- 米国版SBIRを真似て、1999年より始まる。
- 省庁に義務づけられているわけではない。
- 中小企業を支援する補助金制度にすぎない。

SBIR採択企業の代表者の
PhD出自

日本 2010

単位: %
Total 1788



日本では、SBIR政策を通じて土壌下で生まれた最先進の知識をイノベーションに
転換する道を、つくってこなかった。

Source: 山口栄一・阿部泰士による調査

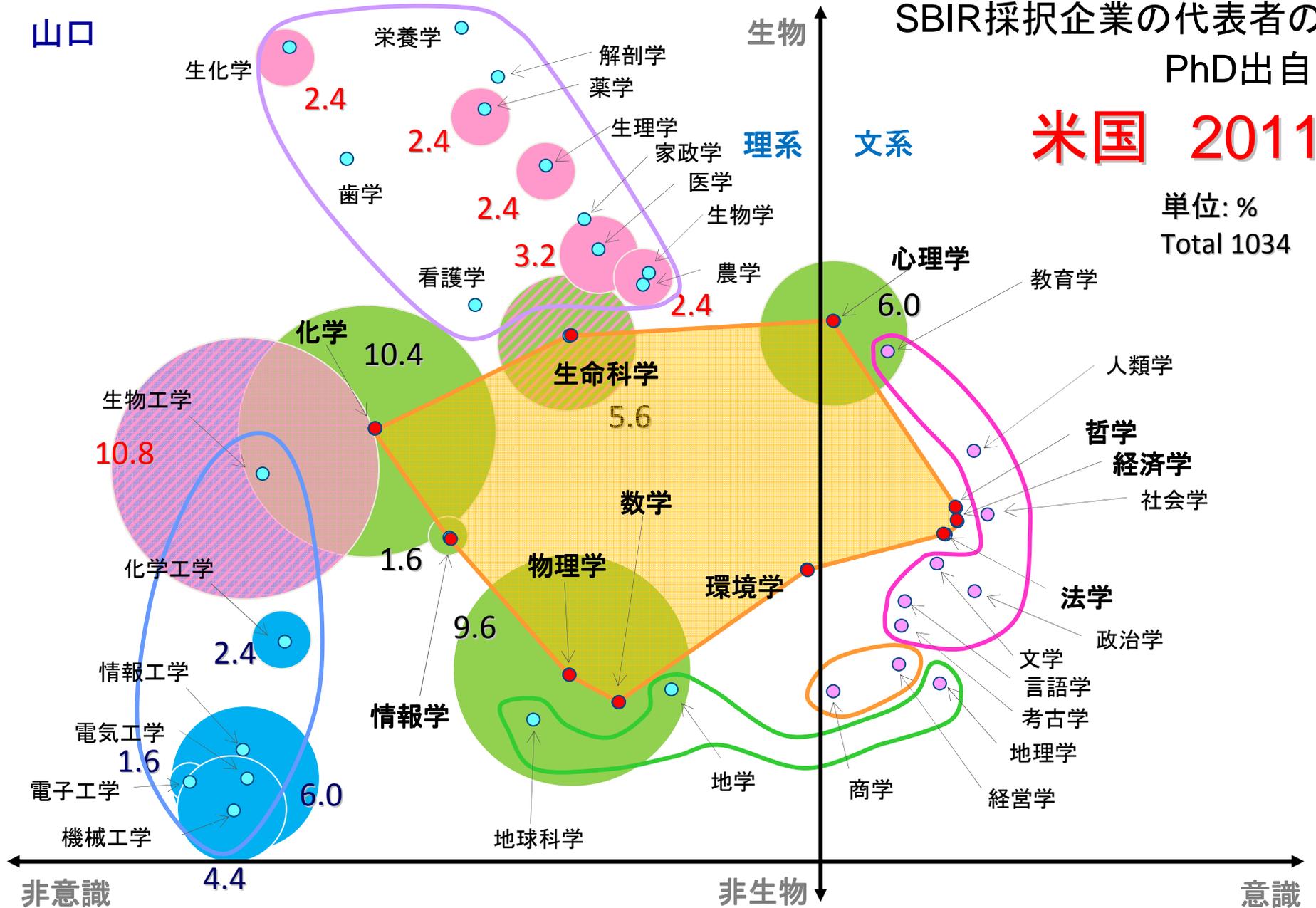
山口

SBIR採択企業の代表者の

PhD出自

米国 2011

単位: %
Total 1034

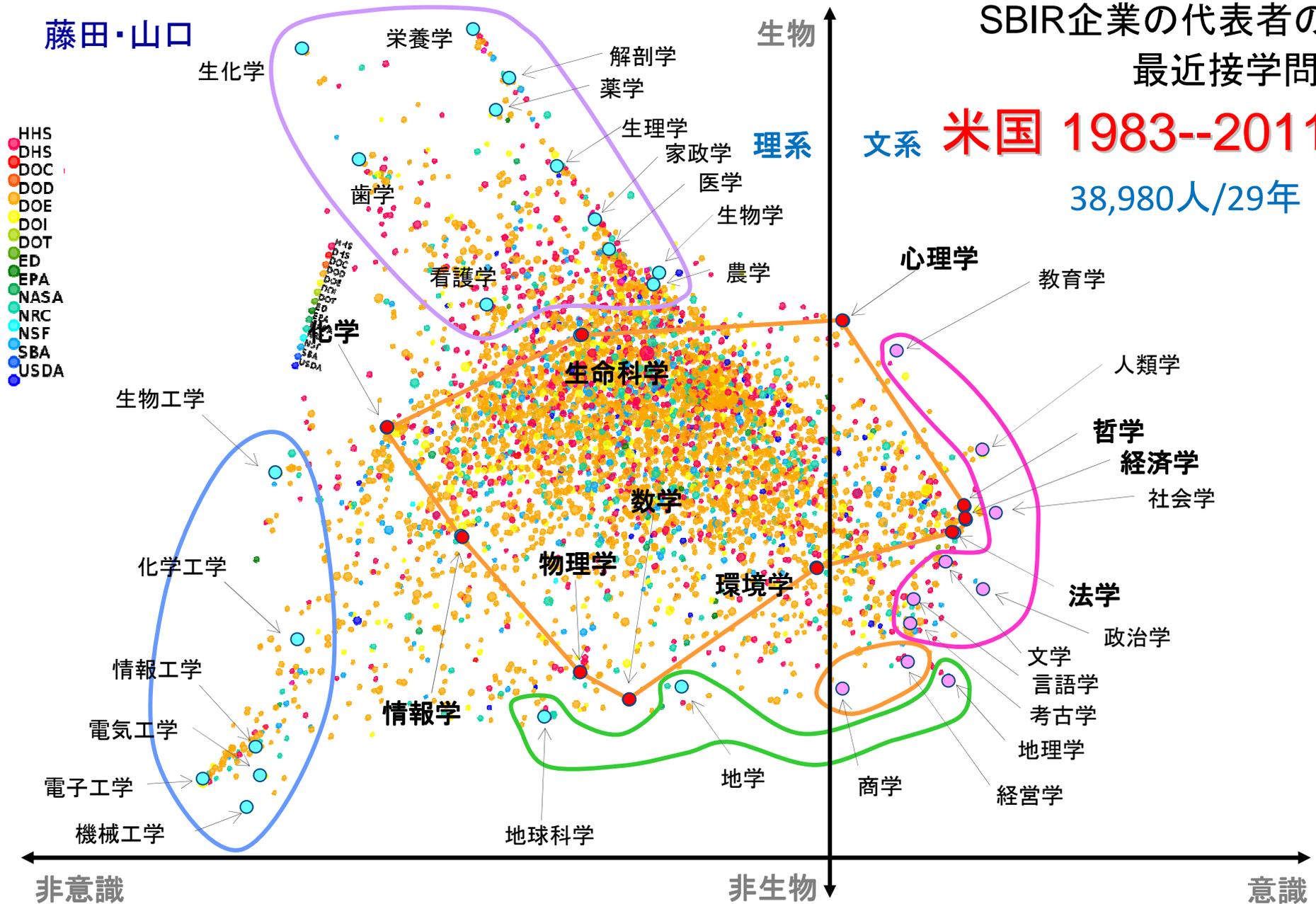


米国では、1982年以来、SBIR政策を通じて土壌下で生まれた最先進の知識を体系的にイノベーションに転換してきた。

Source: 山口栄一・康智勝による調査

SBIR企業の代表者の
最近接学問

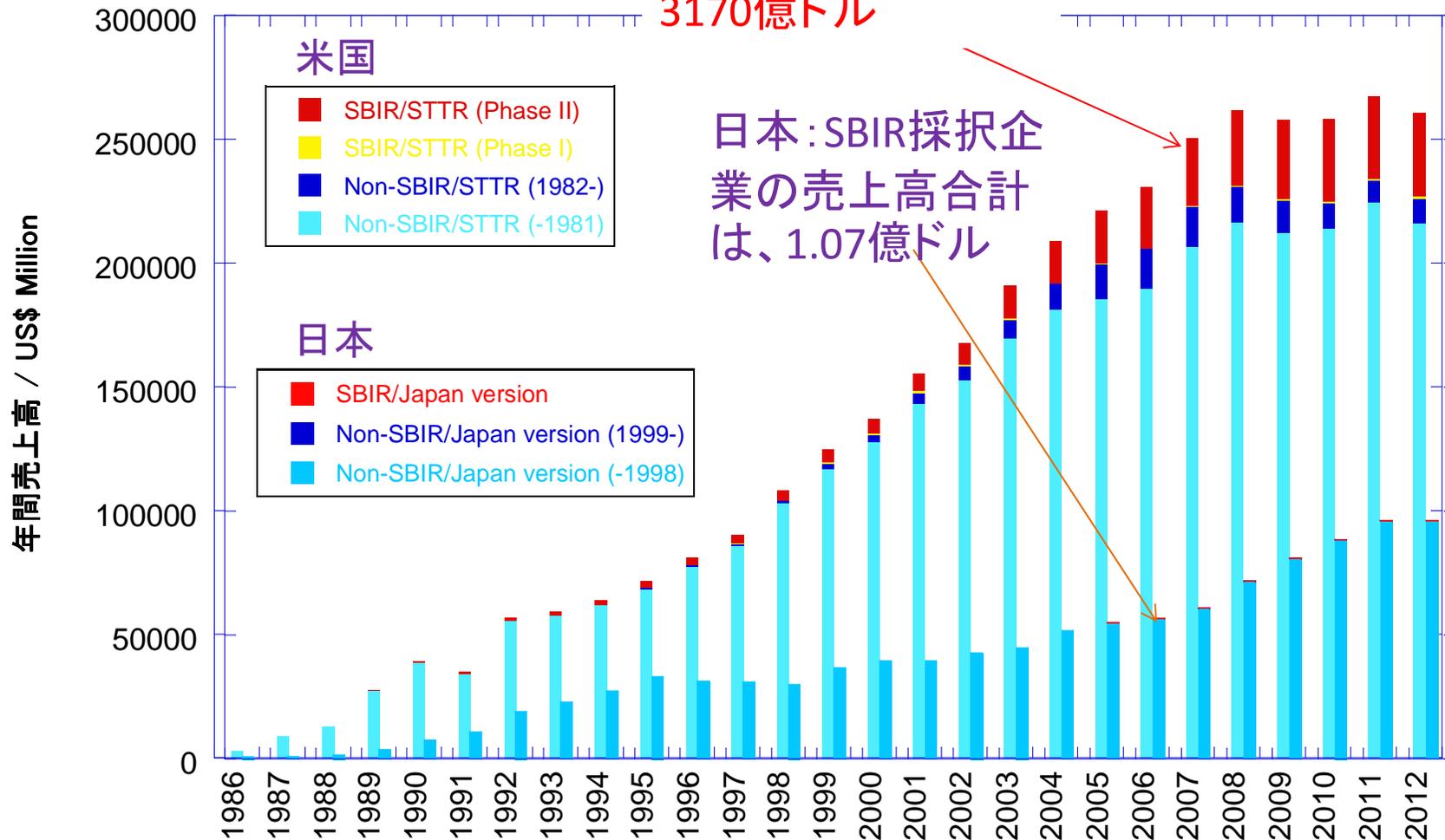
文系 **米国 1983--2011**
38,980人/29年



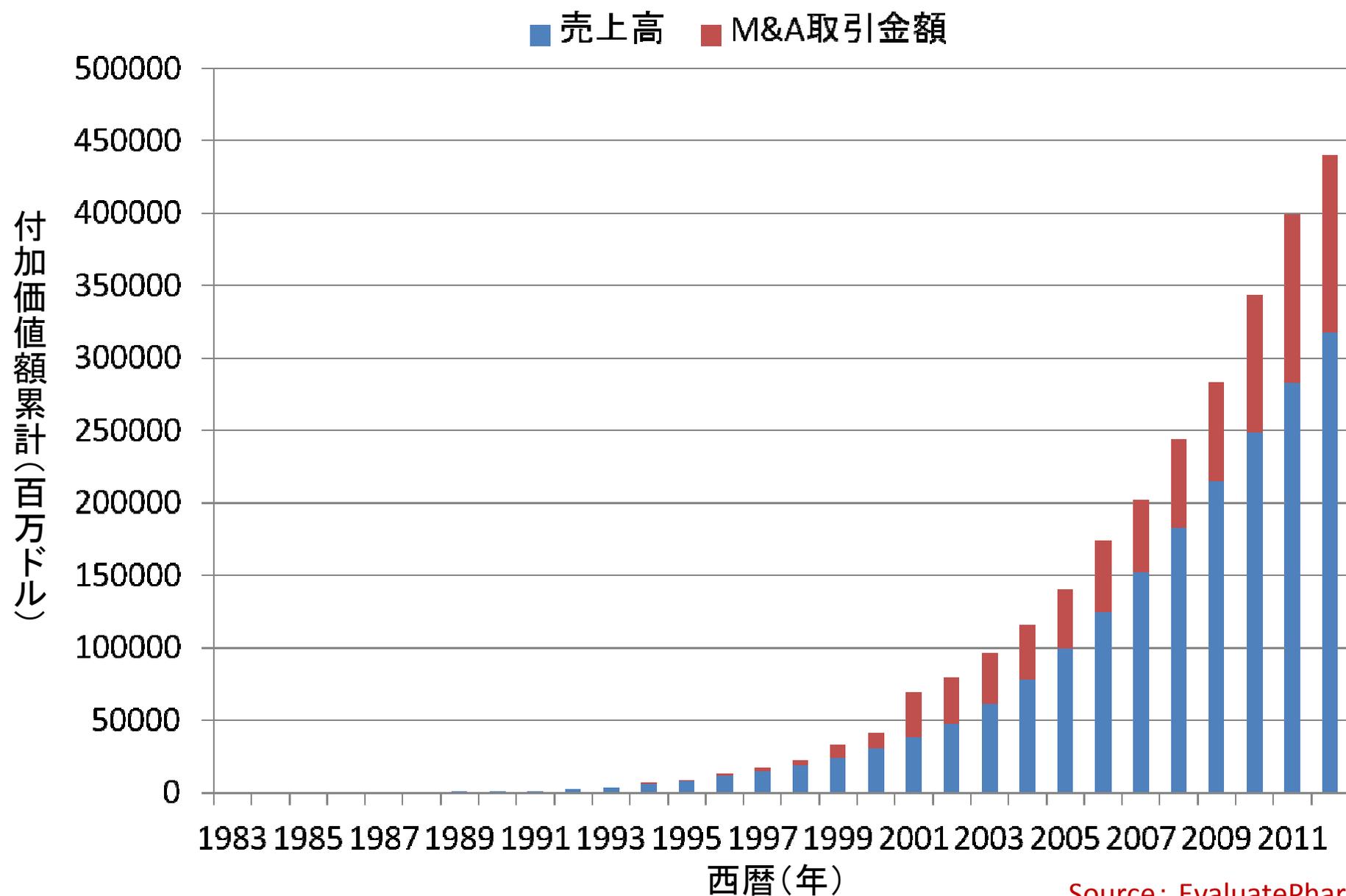
SBIR企業の代表者は、主として生命科学に軸足を置きながら、いずれかのコア学問に2本目の足を置いている。

山本・山口：保険薬を製造する企業の売上高の変遷

米国：SBIR採択企業
の売上高合計は、
3170億ドル

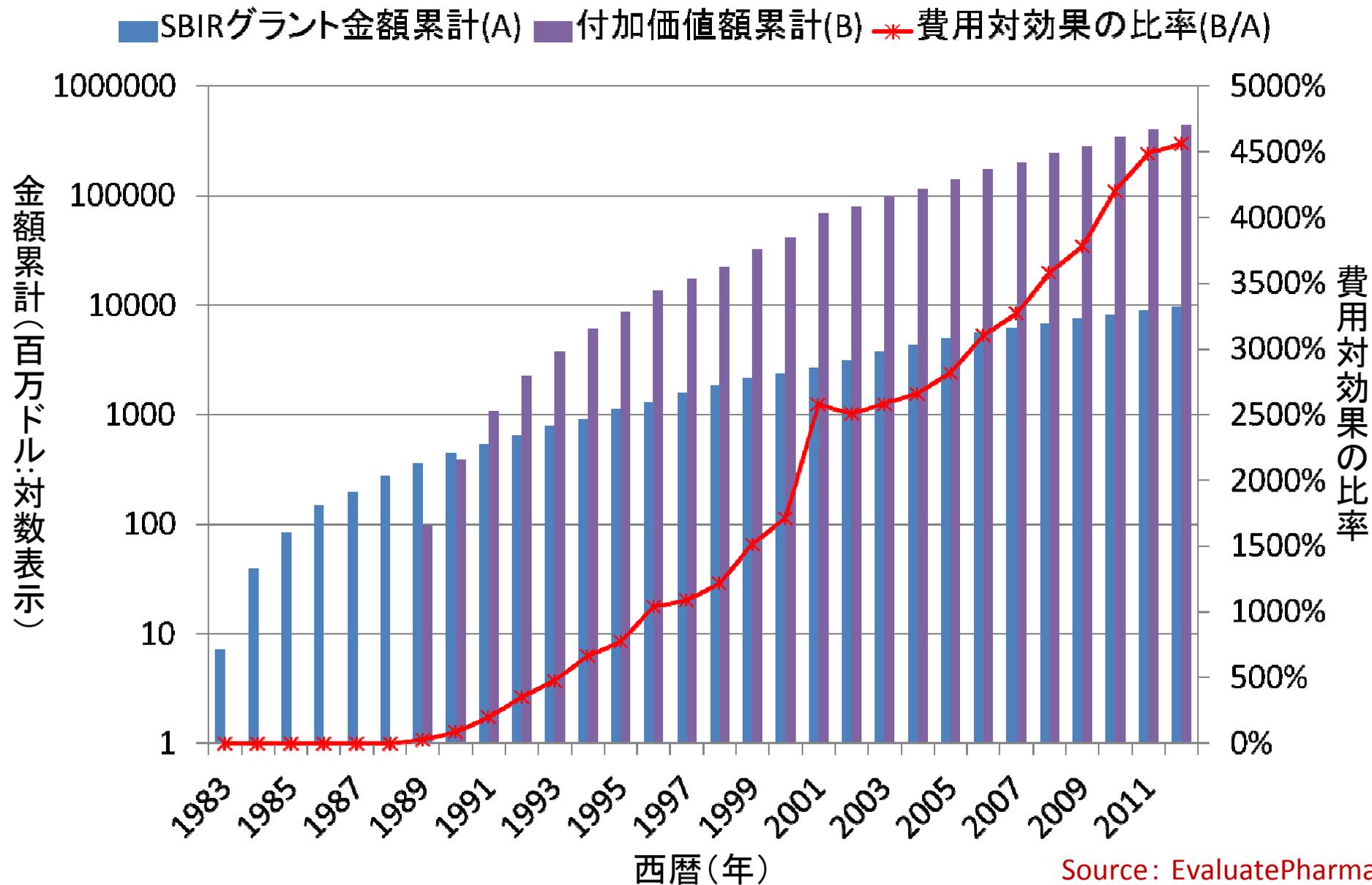


山本・山口：米国SBIR企業の売上高+M&A額の累計の変遷

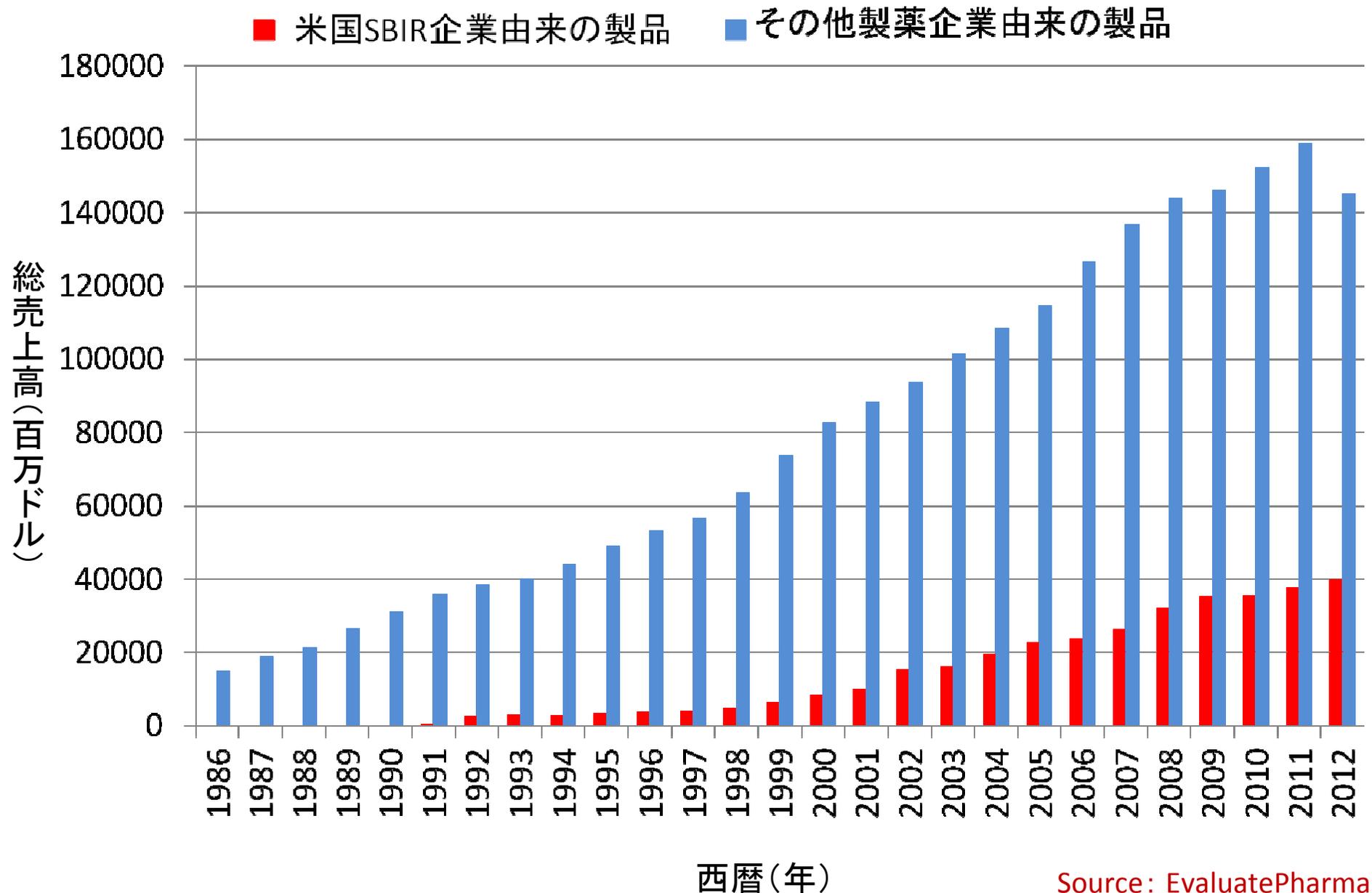


Source: EvaluatePharma

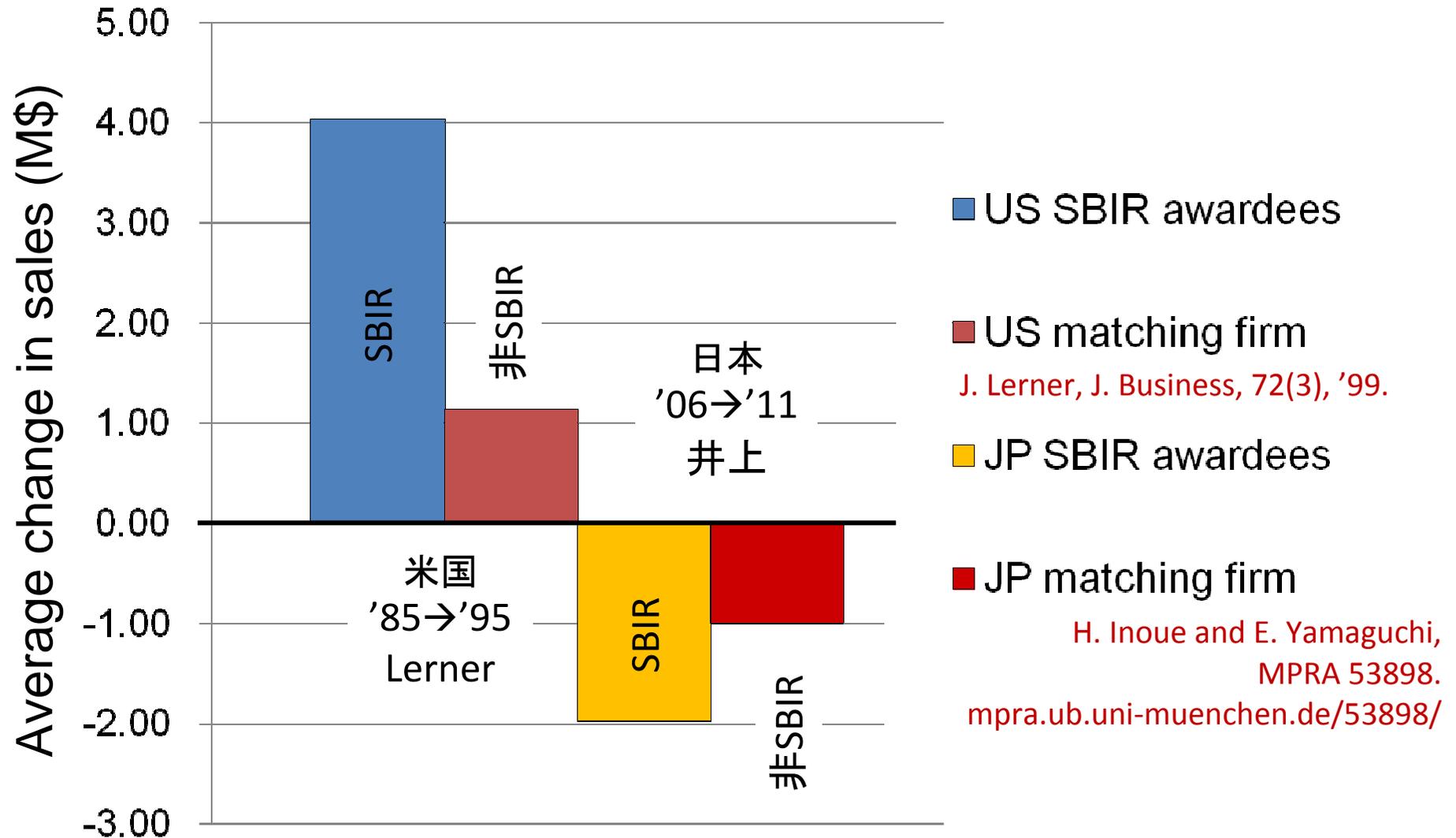
山本・山口：米国SBIR企業における費用対効果の変遷



山本・山口：世界の医薬品売上Top50の総売上高

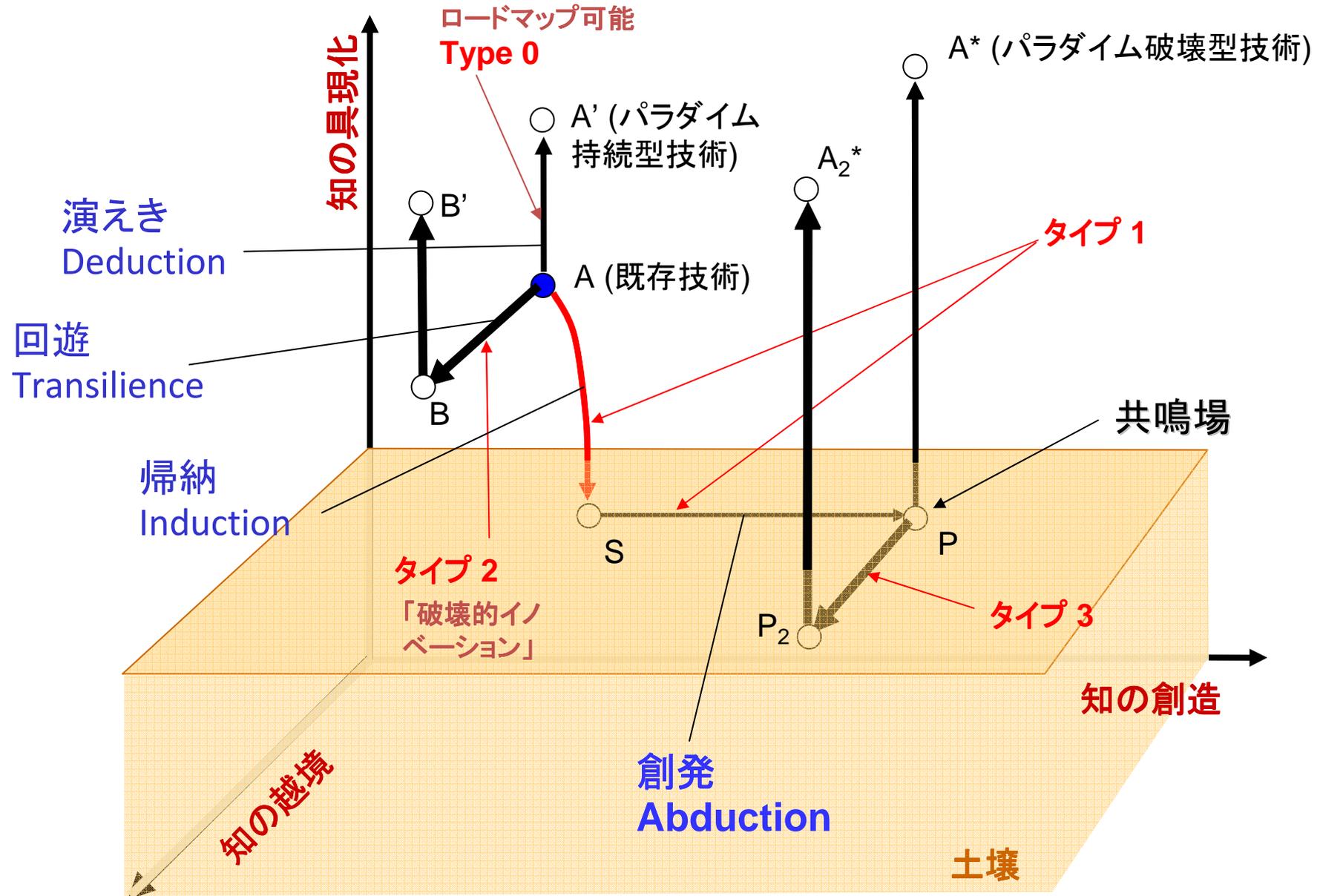


井上・山口：日米のSBIR採択企業：成長の比較



日本のSBIR政策は、完全に失敗だったことを、疑義なく証明。イノベーション政策の
隊列の組み直しが決定的に必要。

山口:21世紀のイノベーションモデル



藤田:
分野知図

